

技能五輪全国大会 2連覇の快挙

南関町出身 植田創一朗さん

「第61回技能五輪全国大会」が11月に愛知県で開催され、町出身の植田創一朗さん(トヨタ自動車)が「試作モデル製作」部門で優勝を果たしました。技能五輪とは、国内の23歳以下の技能者の日本一を決める大会で、機械製図、車体塗装、家具、移動式ロボット、美容など全42種類の競技職種で日頃の鍛錬の成果を競います。植田さんが挑んだ「試作モデル製作」は、新製品の開発にあたりデザインや機能性等を実物で検証するためのモデル製作を行う職種で、ノコギリや鉋、ノミ等の手工具を使い、競技時間10時間の中で図面通りのモデルを製作します。昨年同部門で優勝した植田さんは大会へ向け「毎日の読書や走り込みを

▶今年「コーヒーベンダー」をモチーフにした課題に挑戦



を行い、知識を深めるとともに心身を鍛えた。また、上手く製作できない部品に対して、もっと良くできる方法を考え、より速くより品質の良い製品づくりを追求した」と日々の訓練を振り返り、「目標の大会2連覇を達成できて凄く嬉しい。本番では多少のミスが発生し不安な気持ちもあったが、優勝できて良かった」と目を細めました。また、「去年の金メダリストとして注目される事に加え、今年から有観客での作業となり緊張もあったが、いつも通りの落ち着いた作業ができた」と笑顔。今後については「技能五輪の選手期間では、自分と向き合う中で考え方や生活習慣などを改善し、人としても成長できた。今後は今まで学んだモノづくりの精神や考え方を活かし、さらに技能を伸ばして会社に貢献できるよう頑張ります」と意気込みました。



◀2連覇を達成した植田さん

4年ぶり開催 小原・定住促進住宅チームに栄冠

第47回 南関町駅伝大会

12月3日、町は令和元年度以来4年ぶりとなる「第47回南関町駅伝大会」を開催しました。8チームが出場した今大会は、役場をスタート・ゴールとする8区間17kmの町内を一周する新たなコースで実施。選手は、温かい日差しの中、家族や仲間、沿道の声援を受けながら、懸命な走りを見せました。

優勝は、後続を寄せ付けない抜群の強さを見せた小原・定住促進住宅チームで、チームを率いた監督の宮部竜太郎さんは「4年ぶりの大会で合同チームとして出場し、優勝できてとてもうれしい。これからも地域一丸となって南関町を盛り上げていきたい」と笑顔を見せました。



◀駅伝大会の様子

第47回 南関町駅伝大会 成績表

成績			区間賞					
順位	チーム名	タイム	順位(1位)		チーム名	順位(1位)		チーム名
1位	小原・定住促進住宅	1:01:03	1区 (1.6km)	氏名 大木 莉子 タイム 0:06:05	肥猪・肥猪町	5区 (1.1km)	氏名 大木 颯馬 タイム 0:04:06	四ツ原A
2位	関村	1:03:15	2区 (3.1km)	氏名 黒肥地 健琉 タイム 0:09:06	関村	6区 (1.8km)	氏名 立山 翔太 タイム 0:06:10	小原・定住促進住宅
3位	関東	1:04:27	3区 (1.7km)	氏名 渡辺 重幸 タイム 0:05:08	小原・定住促進住宅	7区 (2.0km)	氏名 浦野 匡史 タイム 0:06:46	関村
4位	上坂下	1:08:28	4区 (2.5km)	氏名 中村 陽彩 タイム 0:09:16	関村	8区 (3.2km)	氏名 津留 健太郎 タイム 0:09:26	関東
5位	四ツ原A	1:08:54						
6位	東豊永	1:11:23						
7位	肥猪・肥猪町	1:11:38						
8位	四ツ原B	1:27:04						

楽しく本と触れ合う機会に

四小 スペシャルあきのおはなし会

11月15日、南関第四小学校(浜崎泰史校長)の体育館で「読み聞かせの会クローバー」によるスペシャルあきのおはなし会が行われました。当会では、読み聞かせを通して、おはなしの世界の面白さや本の世界の楽しさを伝え、子どもたちが本へ興味を持つ機会になればと活動を企画。現在は小学校などで月2回、絵本の読み聞かせやパネルシアター、人形劇などの実演を行っています。当日は、7人のボランティアが参加。児童は、一緒に歌を歌ったり、目を輝かせながら読み聞かせを聴いたりして、物語の世界に入り込み、おはなし会を楽しみました。大里陽真さんは「聞いたことがなかったおはなしを聞くことができたのでおもしろかったです」と笑顔で話しました。



▲歌に合わせてパネルシアターを楽しむ児童



▲左から小竹彩惟さん、小竹実空さん、山本亜純さん、谷口教育長

九州大会での活躍に期待!

南関ジュニアソフトテニスクラブ

11月15日、南関ジュニアソフトテニスクラブに所属する南関第二小学校6年生の小竹実空さん、山本亜純さん、4年生の小竹彩惟さんが教育長を表敬訪問し、11月18~19日にかけて佐賀県で開催される「第28回九州小学生ソフトテニス選手権大会」への出場を報告しました。九州大会へ向けて、小竹実空さん「リーグを上られるように頑張ります」、山本亜純さん「初めての九州大会で勝てるように頑張ります」、小竹彩惟さん「一勝でも多く勝てるように頑張ります」と意気込みを語りました。

夢に向かって難関突破

町内事業者が受験生へ難関突破グッズを贈る

12月13日、町内の事業者から南関中学校(平井一郎校長)の3年生64人へ難関突破グッズが贈られました。この取り組みは、これから先待ち受けるさまざまな困難を突破してほしいという思いから実施され、今年で9回目に。(有)花見商店から「難関突破達成米」、(株)ヤマチクから「難関突破への架け箸」、(有)大木商店から「難関突破芋どら焼き」、南関宿場町伝楽人から「なんかんとは箸置」がそれぞれ贈られました。代表して坂本杏奈さんは「今日貰ったお米は受験の日に勝負飯として食べて、試験では精一杯自分の力を発揮できるように頑張ります」と感謝を述べました。



▲難関突破へ向け気迫を込める生徒



◀左から武田さん、原さん、佐藤町長

南関のお米 初の2名受賞

第7回 九州のお米食味コンクール

12月13日、武田淳一さんと原農場の原靖さんが佐藤町長を表敬訪問し、「第7回九州のお米食味コンクールin多良木」で、それぞれ個人総合部門、県奨励品種部門で特別賞を受賞したことを報告しました。大会では、出品された1,311検体の米を、食味分析計で採点して上位の米をノミネートし、米食味鑑定士等30人の実食による審査で賞を決定します。九州は各地で良食味米が育つため、非常に高水準な検体が多くなる中、過去にも受賞歴がある2人が今年も特別賞に選出される快挙となりました。

南関町では出品者が増加し、自治体部門スコア審査の部では5位入賞の点数に1点及ばなかったものの、前大会の12位から順位を上げて6位となりました。